

平成30年度 主な事業の要求・査定状況

※主な事業とは、市が実施しようとする新規事業・投資的経費等を中心に抜粋したもので、市が行う全ての事業を掲載したものではありません。

健康医療部

(単位:千円)

担当課	小事業	要求額	要求内容	査定額	査定理由
医療政策課	救急医療体制連絡協議会運営経費	1,000	救急医療体制の充実のため、連絡協議会を設立し運営するための経費	0	E
医療政策課	データヘルス計画策定経費(国民健康保険特別会計)	7,020	第2期データヘルス計画を策定するための経費	7,000	B
保健・環境検査課	衛生検査経費	8,856	ノロウイルス食中毒の検査機器(DNAシーケンサー)を整備する。	0	E
生活衛生課	犬猫譲渡ボランティア協力者謝礼経費	360	犬・猫の譲渡推進及び譲渡ボランティアの飼養にかかる費用の負担軽減のため、譲渡ボランティア協力者に対し謝礼を支払う。	360	A
生活衛生課	飼い主のいない猫の繁殖制限手術補助経費	1,000	引取り数の削減のため、飼い主のいない猫の繁殖制限手術に要する経費の一部を助成する。	720	B
生活衛生課	犬猫パートナーシップ店制度経費	538	殺処分数の削減のため、犬猫等販売業者の協力を得て、動物の適正飼養の推進及び犬猫の譲渡事業の周知を図る。	500	B
健康増進課	肝炎ウイルス検診経費	4,153	受診者の利便性向上のため、保健予防課と健康増進課それぞれで実施していた肝炎ウイルス検診・検査の窓口を一本化する。	3,900	B
健康増進課	胃がん内視鏡検診経費	19,131	医療機関での内視鏡検査による胃がん検診の対象年齢を50歳から70歳までの偶数年齢に拡大する。	10,000	D
医療事業課	保健衛生施設整備事業	33,624	総合医療検査センターの防災盤及び空調設備の更新	0	D

- 査定理由
- A: 要求どおり全額を認めているもの
 - B: 単価・数量・金額を精査し、所要額を予算措置したもの
 - C: 実施方法の変更や内容の見直しを行い、所要額を予算措置したもの
 - D: 優先順位をつけ、一部もしくは全部を次年度以降に先送りしたもの
 - E: 実施時期・事業効果の検討等、内容調整が必要と判断したもの
 - F: 国の補正予算を活用して、一部もしくは全部を平成29年度に前倒ししたもの